

# 山田町ゾンタハウス・サポートーズ(維持協力会員) 募集

スー カフェ

～開設期間再延長(2019年3月まで)と、地元高校生による「ZOO café」の実現にご協力を～  
特定非営利活動法人こども福祉研究所  
理事長 森田明美

「山田町ゾンタハウス第2期」(2016年4月～2019年3月)の概要

1. 軽食付き自習室「おらーほ」は、運営形態を一部変更して継続します。
  - ・月曜日から金曜日に開設します(土曜日は休み)。
  - ・軽食提供に子どもが自主的に参加・協力します。
2. 土曜日は高校生が「ZOO café」を開設し、地域の方々や中高生の居場所を作ります。
3. 「街かどギャラリー」は1年後に地域のおとなたちによる自主運営に移行します。
4. 自立的なゾンタハウス運営に協力する維持会員制度(個人・団体)を創設します。



いつも山田町ゾンタハウスに温かいご支援をお寄せください、誠にありがとうございます。

おかげさまで、山田町ゾンタハウスは5回目の卒業進級シーズンを迎えることができました。

2011(平成23)年9月の開設から、軽食付き自習室「おらーほ」では、たくさんの中高生が軽食を食べながら放課後や週末のホッとできる時間を過ごし、学習に取り組んでいます。学生ボランティアとの継続的な交流から、将来を思い描くチカラを得た子どもも多くいます。

町民と小学生の憩いのスペース「街かどギャラリー」は、趣味の活動・発表の場として近隣にお住いの皆さんのが集いの場所となる一方、夕方や週末は元気な小学生が自由に集まり、宿題をしたりボードゲームをしたり、時には待ち合わせ場所にしたりして、明るい笑顔があふれる空間になっています。

山田町ゾンタハウス事業は、当初は開設から2年間の事業として計画されていましたが、子どもたちの様子や町の復興状況等を鑑み、東日本大震災発生から丸5年にあたる2016(平成28)年3月末までの約4年半は継続すると決め、様々な寄付や協力、助成等を活用してきました。

震災発生後5年が経過した今年、東京等でおこなわれたシンポジウムや意見交換会で意見や体験を発表してきた高校生から、「今度は自分たちが山田町を元気にするために何か活動したい！」という声が聞かれるようになりました。

現在の山田町は町のいたるところで復興工事がおこなわれ、落ち着かない雰囲気です。2016(平成28)年7月に開館する予定の「山田町ふれあいセンター」では、軽食の提供や、夜間開館の予定はないと聞いています。商店街の復興も始まっていますが、のんびりとお茶を飲めるような店舗はありません。そこで、高校生たちはゾンタハウスの1階で「高校生カフェ」を開くことに挑戦することになりました。その名は「ZOO café」。ZOOのOOはアルファベットのオーではなく、数字のゼロです。この名前には高校生たちの3つの思いが込められています。

- ① ゼロからのスタート
- ② 動物園のようにいろいろな人がいるカフェにしたい
- ③ 「Z」はゾンタハウスのZ



「ZOO café」から町を元気にしたい、中高校生も自由に集えるカフェにしたい、そんな風に高校生は考えて、春休みに訪れた東洋大学学生ボランティアと一緒に、早速ゾンタハウス1階をきれいに掃除しました。今後、保健所への相談やメニュー作り、材料調達、売上管理等についても、キャリア教育の一環として、高校生が挑戦します。カフェ営業の許可を得るための工事の手配等も始めました。大人の関与は最小限に留めるため、高校生のできる範囲で、土曜日に不定期に開店することになります。

メニューが豊富にあるわけではありませんが、高校生は「ラテアート」でお客様をもてなしたいと、一生懸命練習中です。まずは夏が来る前に開店することを目指して準備しています。

ZOO café と並行して、軽食付き自習室「おらーほ」は、引き続き中高生のための学習スペースとして継続します。従来は土曜日も開設していましたが、土曜日は ZOO café のスペースとして活用するため、「おらーほ」は平日 5 日間の開設に変更致します。

町民と小学生の居場所「街かどギャラリー」は、平成 28 年度の 1 年間をかけて、利用者による自主運営への移行を目指します。街かどギャラリーを拠点に活動する趣味グループの皆さんとご相談しながら、[山田町の状況に合った運営方法を模索](#)していきます。夕方からの数時間や週末は小学生の利用が多いことも考慮しながら、街かどギャラリーらしい運営方法を探します。

これらの事業について、[2016\(平成 28\)年 4 月 1 日から 2019\(平成 31\)年 3 月 31 日までの 3 年間を「山田町ゾンタハウス第 2 期」として、取組みを進めていきます。そのための必要経費を確保するため、「山田町ゾンタハウス・サポーターズ\(維持協力会員\)」制度を創設し、皆様にはご寄付をお願いさせていただきたく、ここにご案内致します。](#)

この 3 年間に山田町の風景は急激に変化すると思われます。町の子どもたちと共に歩む「山田町ゾンタハウス」の新しい事業に、お力を貸しくださいよう、お願い申し上げます。



### 山田町ゾンタハウス・サポーターズ(維持協力会員)制度

**【使途】** 山田町ゾンタハウス第2期事業及び高校生による ZOO café の実現のための費用

**【期間】** 2016(平成 28)年 4 月 1 日から 2019(平成 31)年 3 月 31 日までの 3 年間

**【目標】** 1,000 万円

**【会員種別と年会費】** 3 年分一括でも、何口でもご寄付いただけます。

① 個人会員： 一口 12,000 円

② 団体会員： 一口 120,000 円

③ 都度寄付会員： 金額はご自由にお決めください。単発のご寄付も大歓迎です。

**【報告】** メールやホームページを通して、山田町ゾンタハウスの様子を定期的にお知らせするとともに、年度ごとに事業報告をお送り致します。

高校生作成の看板



**【送金先】** 三菱東京 UFJ 銀行 茅荷谷出張所 ※支店ではありません。

店番 564 口座番号 0005842

特定非営利活動法人こども福祉研究所 理事 森田明美

※クレジットカードによる寄付の導入は検討中です。

**【ご連絡】** 以下の項目をメールにて [yamadamachi.zonta@gmail.com](mailto:yamadamachi.zonta@gmail.com)

までお送りください。メールが利用できない場合には、お手数をおかけいたしますが、

〒028-1351 岩手県下閉伊郡山田町長崎 4-2-10 山田町ゾンタハウス 宛に、

郵送にてお送りください。どうぞよろしくお願ひ致します。

(1)お名前 (2)ご所属(あれば) (3)ご連絡先お電話番号

(4)会員種別(個人・団体・都度寄付のどれか)

### 特定非営利活動法人こども福祉研究所

東洋大学社会学部社会福祉学科 森田明美研究室内

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学白山校舎 2 号館 608 号室

電話：03-3945-7481 メール：[yamadamachi.zonta@gmail.com](mailto:yamadamachi.zonta@gmail.com)